

2020年度 第41回 大阪府高等学校芸術文化祭 放送文化部門  
朗読部門 結果・講評一覧

番号	評価	講評など
----	----	------

【審査員】

仲山 豊秋	元NHK大阪放送局（主審）
西田 恵二	府立泉北高等学校長
秋本 みゆき	大阪市立高等学校
伊藤 元也	四天王寺東高等学校
内野 洋子	プール学院高等学校
濱口 昌紘	アサンプション国際高等学校
安田 知博	放送部インストラクター
宮崎 由紀恵	府立枚方津田高等学校（計時・原稿チェック）

7人の審査員が100点満点で採点し、合計700点で評価しました。

その上で、規定違反(原稿通り読めていない等)について減点しました。

その得点を基準として、上位3位を優秀賞、続く3人を奨励賞としました。

また、入賞まで30点以内をA評価、60点以内をB評価、それ以降をC評価としています。

審査員からいただいたコメントをまとめ、「講評など」として掲載しています。

※ 審査番号順に掲載しています。

個人情報保護のため、学校名・名前の掲載は控えさせていただきます。

大阪府高等学校視聴覚教育研究会 放送コンテスト委員会

2020年度 第41回 大阪府高等学校芸術文化祭 放送文化部門  
朗読部門 結果・講評一覧

番号	評価	講評など
1	C	声が出ていない。腹から声を出そう。文語文であることから、文字を追う読み方になっている。タイトルコールをもっとしっかり。古文もしっかり意味の塊で読むように意識しよう。名乗りから癖がある。意味を伝えるというより雰囲気だけを作ろうとしている。話し言葉の基本の呼吸で読もう。テンポがゆっくりで意味を取りにくい。声に勢いを。テンポと高低をもう少し生かしてほしい。
2	C	不要なポーズが多い。一つの事象は自然な息使いで語ってほしい。波打つところがある。「長い沈黙」が急に強くなった。場面はよくわかる。「それから」の滑舌がんばって。意味の区切りで切ろう。場面に合った読み方を工夫しよう。セリフ・地の文の表現を工夫している。アクセントチェックを。うねるところがあるのでイントネーションの研究を。間に工夫を。
3	奨励	それぞれのシークエンスに見合った声選びをしよう。音の三原則の音声を使うことをめざそう。タイトルコールOK。落ち着いた読み。滑舌にやや甘いところがある。抽出した場面がややわかりにくい。セリフ・地の文の表現工夫している。文末が弱く聞きづらいのが残念。作品の世界観を伝えようとしているが、速いところはわかりにくい。テンポ感が良い。後半もう少しはっきり発音しよう。ラストの1文がわかりにくい。
4	A	どの場面も同じ声でアプローチしているため情景や動きがいまひとつ伝わってこない。会話文の後の文も会話に聞こえてしまう。セリフからの導入は難しい。抽出の工夫を。滑舌の甘いところあり。(唇音など)。音(特に母音)がくっつくところがあり聞き取りにくい。声が震えているのがもったいない
5	奨励	感情移入良い。単調なリズムになってしまっている。間の取り方上手。登場人物の関係がわかりにくい。落ち着いた読み。人名聞こえない。セリフの表現の文を聞かせてほしい。冒頭が聞き取りにくいのが残念。はっきり発音できていて良い。登場人物の感情の表現ができています。
6	A	どのセンテンスも同じ声づかいでのアナウンスになっている。思いを伝える朗読を!!。サ行・ナ行注意。出だしをもっと高く。ラストの文、わかりにくい。滑舌甘いところあり。モノが列挙されることが多い場面の抽出はどうかと思う。間の取り方工夫している。サ行に難あり。高低を意識してほしい。
7	優秀	音声の使い分けが良い。スピードの違いでアナウンスの変化が付けられることも知ろう。タイトルコールOK。音域をもっと広く使いたい。時々語気が強くなるようなので高低を使って表現しよう。滑舌きれい。読みは落ち着いている。場面よくわかる抽出。サ行・ナ行の聞き取りにくいところあり。セリフからの導入は難しい。抽出工夫を。何があった画面が分かりづらい。最初に戸惑いを感じたが他はよく読めている。
8	優秀	声の使い分けで内容が動いていて良い。ダ行注意。ぶつ切り感がある。もう少し「話すように」を意識しよう。ブツブツ区切れすぎ。自然な話し言葉の呼吸で語ろう。場面の転換に適切な間を工夫しよう。句読点に工夫を。ぶつ切りに聞こえる。動きのイントネーションが不自然に感じる。
9	A	アクセントに注意。使っている声のゾーンが狭いため内容が動いてくれない。タイトルコールをもっとしっかり。地の文をもう少し客観的に。文頭の音が低く入りすぎて後半が苦しい。自分のコントロールしやすい音域を使い表現しよう。文頭は高い音から入る練習を。気分ではなく情報を伝える練習も必要。単調で作品の表現を雰囲気に頼ってしまっている。
10	B	声の出し方に工夫が必要。全体に読んでいるため内容が画にならない。情景が浮かびにくい場面。声が細い。腹式呼吸の練習をして声を腹から出せるように。息が抜けてしまっている。意味をきちんと理解しイントネーションや間を工夫しよう。マイクの使い方を練習しよう。サ行・タ行が聞き取りにくい。
11	A	心の動きや思いによって声を使い分けようとする意欲を感じる。無声化がんばって。高低をもっと使おう。サ行の発音に癖がある。真面目に発音しようとしているが力が入っていてやや不自然。話すように語ろう。プロミネンスの研究を。意味のないところを強く読んでいる。羊の「ひ」聞きづらい。間の工夫は見えたが読みがたどたどしく感じる。
12	A	作者名は情報を伝える文なので感情は不要。どのセンテンスも声の使い方が同じになっている。助詞、文末の音声がやや不鮮明なのが気になる。低い部分が苦しそうなので出だしをもっと高く。高低をしっかりと使おう。急に大きくなる。文末が消えがち。少し不自然な力の抜き方。マイクがやや近い。音がくっつくところがあり、聞き取りにくい。イントネーションが不自然で雰囲気作りに意識を持っていかれている。
13	欠	

2020年度 第41回 大阪府高等学校芸術文化祭 放送文化部門  
朗読部門 結果・講評一覧

番号	評価	講評など
14	A	聞き取りやすい声。面白い場面だが、冒頭からテンポが速すぎて話についていけない。聞き手のことを念頭に置いて朗読しよう。思いを込めれば適度な速さになる。おそらく抽出が長すぎるのでは？ 早いので分かりづらい。相手が理解できるスピードで。聞き取りやすい声で良いがテンポが速く少し残念。スピードが同じなので緩急をつける。
15	奨励	文字を追って読んでしまっている。声の出し方は良い。語りかけるイメージで朗読してほしい。文頭をもう少し高く。聞き取りやすい声。登場人物がわからない。文の構造を考えながら読もう。修飾関係が見えてこない。セリフと地の文の差がいまいちつかめない。よく通る声で聞きやすい。話が単調にならないような工夫を。声質が良く、間もよく取れているがテンポに工夫がほしい。
16	B	滑舌が甘い。声出しは良い。各センテンスをどんな音で攻めれば良いのかを考えよう。声がかもって聞こえる。ラ行・ダ行・ハ行に注意。マイクに近すぎ。文末の音出していない。意味を考えながら場面を作っていく。聞き取りにくいところあり。滑舌の練習を。タ行に難あり。登場人物の苦悩が表現できていない。
17	欠	
18	A	声の濃淡を感じるが、朗読のスピードが全て同じになっているのが残念。文末聞こえにくい。「～は」が「～ア」に聞こえる。ラストの一文に工夫を。セリフの部分が冒頭に多く状況が掴みにくい。冒頭のセリフのやりとりの雰囲気は？ この場面、理解している？ 後半とのつながりを考えて工夫しよう。地の文の読みに工夫を。イントネーションが不自然で語尾が聞き取りにくい部分があったが感情表現はよくできている。
19	C	「読んでいる状態」になっている。聞き手をどんどん置いていってしまっている。一つ一つの情報を聞き手に伝えよう。もう少しゆっくり。速いのでリスナーはついていけない。間を大切に。文頭は高く、意味の塊で。音声の強弱感・高低感を意識してみよう。感情移入にも気を遣おう。英語の部分の抽出はあえて？ 読むことに集中して内容を伝えるための技術を身につけよう。大阪弁の表現が優しくとどまっている。
20	B	声の使い方良い。タイトルコールはもう少しさらっと。地の文に感情が入りすぎ。ラストの一文の読み方はあれでいい？ うねっている。美しい場面なのに読み方がそうになっていない。明るく笑顔に満ちた光に聞こえない。マイクスタンドの使い方に慣れよう。前半の地の文の内容がリスナーに伝わりにくい。テンポが不自然。
21	A	タイトルコールからしっかり読もう。声の出が不十分。同じゾーンの声遣いになってしまっている。読点の切り方に工夫を。ぶつ切りに聞こえる。語尾が上がってしまっていて不自然。音量がもう少し欲しい。背景にある感情や思いにも気遣いしよう。音域もっと広く。ザ行。ラストもう一工夫を。マイクやや遠いか。意味を考えながら話し言葉の呼吸で。アクセント等にも気を使おう。
22	C	声幅を広げて内容に見合った声を選択する必要あり。文頭をもっと高くから。ぶつ切りになっている。話すように読もう。場面の抽出、再考を。声を前に出そう。一つ一つの音を大切にして聴き手に届けよう。音域をもっと広くしよう。文頭は高く入ろう。低い音のままでは聞きづらい。テンポが一定で話が入ってこない。マイクとの距離の調整を。
23	B	タイトルコールはもう少し元気に。音声表現は声の強弱、高低、スピードを変えることで描かれ方が変わる。波打っている。もう少し間が欲しい。母音がくっついていて。うねりが気になる。気持ちの表現と地の文の語りをきちんと分けて表現しよう。自然な話し言葉の息で読もう。文末が聞き取りにくい。感情の表現が伝わってこない。
24	C	最初から最後まで同じ音質のアナウンスになっているため棒読みに聞こえてしまう。音声の変化で語ろう。文頭をもっと高く。文末を下がり切らせよう。話すように読もう。タイトルコールはもう少し元気に。もっとじっくり場面を描いて。本文に入るのが早い。間を取ろう。きちんと一つ一つの情報を聞き手に届けよう。急に強くなる。声の大きさをセリフを表現しないように。抽出長すぎ。マイク近すぎ。
25	A	語りのリズムが単調になっている。聞き取りやすい読み。場面も後半でわかる。大事な箇所の部分は、もう少し表現に工夫を。ややうねりが気になる。丁寧に語ろうとしているが、文末にやや苦しい部分がある。音域を広く取る練習を。高低に工夫が見られずテンポが一定で話が浮かんでこない。
26	B	読んでしまっているため棒読みに聞こえる。自分の目の前に人を置いてその人に語ってみよう。文頭をもう少し高く。テンポが同じ。ラストの一文にもう一工夫を。地の文の表現に工夫を。ただの音訳にならないように。滑舌にやや甘いところがある。本のタイトルは地の文が単調。プロミネンスを意識しよう。セリフ以外の部分でテンポ・高低は合っているのか？ 楽しい場面では？

2020年度 第41回 大阪府高等学校芸術文化祭 放送文化部門  
朗読部門 結果・講評一覧

番号	評価	講評など
27	C	題名が聞こえない。本のタイトルははっきりと。声が出ていない。声がかもっているので聞き取りにくい。腹から声を出せばそれだけでも伝わる朗読になる。口がしっかり開いた音になっていないので音の輪郭が曖昧。滑舌の練習を。音声弱い。1音1音をはっきりと。同じテンポなので大事なところが伝わらない。
28	A	聞き取りやすい声。各センテンスが同じ強弱、高低、スピード、声出しでアプローチしているので単調。意味の塊で切ろう。会話主がどういう人物かわからない。意味を考えながらイントネーションを工夫して。場面の緊張感を作り出そう。わかりやすい場面を抽出しているが、スポーツの1場面の表現にはとても聞こえない。暗く聞こえるところが残念。セリフが聞き取りづらい。語尾をはっきりと。
29	A	聞き取りやすい声。声幅を広く使っているが不要なポーズが多いのが残念。音域を広く取るとダイナミックになる。語りかけるアナウンスになるように。急に強くなるところがある。ラストの一文に工夫が欲しい。文の修飾関係を考える表現にしよう。打ち合いの緊張感とその後の場面の差をもっと工夫しよう。語尾が聞き取りにくいところがある。句読点を打つところ、テンポにもう少し工夫が欲しい。
30	B	何を読んでも同じ質量のアナウンスになっているため単調。地の文に感情が入りすぎる。人は画面がわかりにくい。題名聞こえていない。話し言葉の自然な行で表現しよう。普段の話し方を思い出して。高いところから入る練習を。喉を少し開放して読もう。雰囲気作り集中しすぎているのでは？中身が伝わらない。
31	C	声出しが薄い。腹から声を出そう。一生懸命に文字を追って音がついているだけになっている。マイクが離れすぎです。意味の塊を意識しましょう。文頭を高く読みましょう。ラストにもう一工夫を。マイク遠い。頭に絵を描きやすい場面なのになかなか伝わらない。首を振って読むと音が不安定に聞こえる。マイクの使い方に慣れよう。サ行に難あり。音量が弱く場面を表現できていない。
32	B	マイクの使い方も審査対象。マイクの高さを合わせて。マイクから離れすぎ。滑舌甘い。不要なポーズをとっているため単調。楽しいものは楽しく悲しいものは悲しく朗読しよう。ぶつ切りになっている。意味を考えて。場面が伝わってこない。意味のあるまとまりを考えて読もう。音量が弱くテンポが一定でスムーズに伝わってこない。
33	A	タイトルコールOK。題名伝わらない。やや音を引っ張りながらのアナウンスになっている。スタッカートで語ればリズムがついてくるはず。会話文の後の地の文がわかりにくい。ラストのセリフ良い。弱い音聞こえてこない。文字を追わないように。おぼちゃんのセリフそれでいい？語尾・文末が低くなり聞き取りにくい。リズムよく読んでいるがもう少しセリフで感情が表現できればより良くなる。
34	C	ポーズの長さが全て同じになっているため単調に聞こえる。感情の込め方◎。時の読み。イントネーション不安定。それぞれの死因の差をきちんと描こう。意味を考えて区切りましょう。良治さんに伝わらない。今日で切るのではなく意味で切ろう。吐く息をコントロールしよう。息が混ざって聞きづらい。テンポだけで雰囲気を表現している。
35	欠	欠
36	B	文末、フレーズ末の音の伸びが気になる。ぶつ切りになっている。一つ一つの場面を聞き手に向かって語ろう。叫び声を出す必要はないので、自然な話し言葉の息で語ろう。文末の「た」が単調。ぶつ切りに聞こえる。イントネーションが不自然。なぜこの場面を選んだのか見えない。
37	A	いい声。大阪弁のセリフ上手。会話文良い。地の文がぶつ切りになっている。地の文をどうアナウンスするのが課題。うねりが気になる。話し言葉の発声で。歌？何か聞こえない。歌うのではなく朗読するので、意味を考えて。タイトル聞き取りにくい。感情込めすぎて内容が分かりにくい。大阪弁の表現は正しいのか。登場人物の感情が見えてこない。
38	B	どのセンテンスも、音のつき方が同じで音の強弱感が薄い。また、テンポが単調になってしまった。場面が伝わってこない。自然な話し言葉の発声で、話すように読む練習をしてみよう。文頭をしっかり読もう。真面目な有美ですがもっともっと表現の幅を広げよう。
39	優秀	聞き取りやすい声。場面わかりやすい。内容を理解して読んでいる。音声に気持ち乗っていることがわかる。「ひと息読み」ができていて、内容に動きを感じる。文末が消えて聞こえない。長い文をどう表現しようか、もっと工夫しよう。サ行などの音の練習を。セリフ以外が少し伝わりにくい。